

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	4	東京都台東区立下町風俗資料館	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園2-1 [規模] 延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 搭屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など
(3)	[委託事業] 下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の整理整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業 [自主事業] 特別展「装いが示すもの -ひととなりを身にまとう-」（令和3年12/4から令和4年2/20まで） 企画展「スポーツを楽しむ」（令和4年7/7から令和4年9/12まで）、芸術・技術実演会「伝統工芸体験教室」
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：休館日（月曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
(6)	[人員体制] 14名 （内 訳）常勤固有職員(1) 研究員(1) 会計年度任用職員(2) 専門員(2) 特例嘱託員(6) 派遣職員(1) 再任用(1) （前年増減）特例嘱託員1名増

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	19,899,000	15,103,816	19,413,000	14,867,063
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	19,899,000	15,103,816	19,413,000	14,867,063
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	5,429,000	3,627,242	5,676,000	4,588,608
	維持管理費（委託料・賃借料）	10,689,000	9,091,200	10,745,000	8,561,493
	修繕費	800,000	249,810	800,000	284,845
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（消耗品費等）	2,981,000	2,135,564	2,192,000	1,432,117
	計	19,899,000	15,103,816	19,413,000	14,867,063
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
開館日数	日	-	276	153	268

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
入館者数	人	-	66,781	11,423	25,508

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
YouTubeを活用した動画配信サービスによる展示内容の解説など、コロナ禍に対応した情報発信を行った。また、感染防止対策を行いながら伝統工芸体験教室を実施し、外国語の案内表記を追加するなど入館者の意見を取り入れ、適切に対応した。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区と連携し、自主事業の中止や施設の臨時休館に対応した。事業計画書に予定されたギャラリートークは中止となったが、映像配信等の活用を継続した。また、感染症対策を行いながら伝統工芸体験教室を開催した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕については、付設展示場の管理についても区に迅速に連絡し適切な対応を行った。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	動画配信で展示内容を紹介し、コロナ禍における利用者向けサービスに取り組んだ。また、アンケートを実施し、外国語案内表記の追加などの利用者の声を活かし、サービス向上に取り組んだ。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	新型コロナウイルス感染症の影響は継続するも、図録小冊子の売上収入が令和2年度と比べ増加した。また、印刷製本費の縮減により自主事業の経費節約に努めるなど、状況に応じた経費削減が見られたが、引き続き管理経費支出の縮減策等を工夫する必要がある。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】 入館者数は令和2年度に比べ増加したが、新型コロナウイルス感染症が継続し、コロナ禍前の水準に回復しない状況。動画配信サービスを活用した利用者向けサービス等に継続して取り組み、また利用者アンケート結果を受け、改善に努めた。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 新型コロナウイルス感染症が継続し、予定していたギャラリートーク等も中止せざるを得なかった。令和2年度より実施している動画配信等、来館者や社会のニーズに沿った取り組みを継続して実施する必要がある。</p>